

令和7年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2026.1.19(月)

事業コード	25-G-10	学校名	恵那市立岩邑中学校		住 所	恵那市岩村町1273番地1
実施日	11月20日(木)13:30~15:45			受講児童生徒数	95名(1~2年生)	
開講職種数	6職種	指導者数	10名	参観保護者数	0名	

学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- 教員が職業について言葉を尽くして語っても伝わらないことが、プロの技を実際に見ると伝わることも多く、生徒たちの感動も大きいと感じました。
- 自分の手で「もの」を作ることの体験がとても価値があると感じました。簡単には思ったようにはいかないし上手く作れないという体験を通して、工夫することや失敗から次に向かって立ち上がることなど、多くのことを学ぶと思います。コンピュータ上で遊んだり勉強したりする機会が多い今の生徒には、自分の手で作る体験が、特に大切だと感じました。

会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

1 この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか

①大変よく伝わった →

②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →

④全く伝わらなかった →

2 児童生徒に対するキャリア教育の視点で、この体験授業の価値や要望について、自由にお書きください。

→

- 生徒にとって職場体験学習などはカリキュラムに位置づけられているが、今回のような「技能」を必要とする職業を体験することは難しいため、貴重な学習だったと感じる。改めて、教員以外の職業について、生徒に触れさせることができることがとても価値のあることだと感じた。(電子機器組立て会場)
- 今回は準備した学校のミシンでなく、講師の方の持参したミシンで完成させた。教師・生徒ともにミシンの操作が不慣れなことを考えると、その作業は今回のようにお任せでやらないと無理な気がしました(今回の方法で問題なかった)。(寝具製作会場)
- 自分の手で「もの」を作ることの体験がとても価値があると感じました。簡単には思ったようにはいかないし上手く作れないという体験を通して、工夫することや失敗から次に向かって立ち上がることなど、多くのことを学ぶと思います。(建築大工会場)
- スマートフォンやゲームなど、デジタルの世界で生活することの多くなった生徒たちが、手作業でのものづくりを学べるのは、教育的に価値のあることだと思う。丹精込めて作られているからこそ、物を大事に使う気持ちが育まれていくのだと思う。特に、畳は日本の伝統的な産業であると同時に、私たちの生活を支えてきた大切な文化である。畳の需要が落ち、後継者不足が叫ばれる中、職人さんたちの熱い思いや高い技術を知ることができたことで、ものづくりの良さを実感し、職業選択の一つに考える生徒もいたのではないかと思う。生徒たちは、日本の伝統的なものづくりの良さを再発見できる機会となった。(畳製作会場)
- ものを作ることだけでなく、ものを通じて人と関わる仕事の大切さが伝わり、働くことの責任感ややりがいに触れるところが良いと感じました。(貴金属装身具製作会場)
- 講話だけでなく、実際に体験することでものづくりに関わる職業の魅力がより理解できたと感じます。また、生徒たちは意外と世の中にどんな職業があるのかを知らない部分もあるので、こうした体験授業はキャリア教育という観点で大変有効であると感じました。(フラワー装飾)

指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しあったが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

5
1

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしかりましたら、お聞かせください

- ・午前中に理科室を空けて頂いたので、しっかりと準備が出来ました。今後とも準備の為、空けて頂きたい。
- ・今回、16人の生徒さんが受講されましたが、時間内のギリギリで終了できましたが、12人以上の生徒がいる場合はもう一人助手が必要だと感じた。
- ・生徒にケガなく安全に授業を終えることができたので、概ね良好であった。ものづくりの楽しさを教える為に、もっと体験授業の機会を増やしてほしい。(電子機器組み立て職種)
- ・我々、寝具業界は職人の高齢化と後継者不足が深刻な状況であり、またインターネットなど大手メーカーによる量販や価格に転嫁した通販などの影響もあって"廃業"を余儀なくされる小売店も少なくありません。その一方で、職人が手掛けた『本物の布団』を求める顧客は全国にいます。唯一無二、一人一人の要望に沿った付加価値の高い布団を仕立てることのできる職人の存在を世の中にもっと発信していく必要があります。
- この体験授業を通して『ものづくり』という職業の"魅力"と"可能性"を多くの子どもたちに伝えられることは非常に尊く、私自身とても嬉しく思います。
- 私は、ある人の出会いが"キッカケ"でこの世界に入りました。しかも、その出会いは突然に訪れました。どうか、これからもこの様なキャリア教育を実施することで子どもたちが"夢を抱く"ことのできるキッカケづくりを岐阜県主導で積極的に推進していただきたいです。(寝具製作職種)
- ・生徒より担当の先生が興味を示し、積極的に良かったと思います。特に差し金の丸目と角目に興味を持ってもらいました。
- ・日本の物作りの原点でもある職人技を子供たちに知ってもらい、更に興味を持ってもらい、未来の職人を育てるのがこの取り組みだと思います。私は、今年10月9日に行われた(一社)日本建築大工技能士会研修会において、大工の規矩術(差し金術)を日本の文化遺産にし、更に世界文化遺産になるよう提案しました。文化遺産になることで、親や子供たちがより一層興味を示すと思います。(建築大工職種)
- ・畳打ち体験を1ヶ所でなく2ヶ所で行った方が効率よくできると思う。
- ・畳製作業界における人材確保と育成は、需要の減少と職人の高齢化で、深刻な状況です。また、20代、30代の子育て世代に、畳の良さを知ってもらうことも必要です。
- ・学校での体験授業の延長での実施は不可能と思うけど、工場見学等もできれば、本来の仕事内容を知ってもらう上で有効と思う。(畳製作職種)
- ・本物の技能者の技や話にふれる事のできる「未来の技能者育成事業」はすばらしいです。予算の関係もあるのでしょうかが、できるだけ多くの子ども達にチャンスを与えて欲しいです。(貴金属装身具製作職種)
- ・授業後に花の仕事について先生方とお話ができました。先生方にも興味を持っていただくことが大切かと思いました。
- ・学校でこのような体験授業を行えることは、とても素晴らしいと思います。子ども達に仕事の内容ややりがい、苦労や楽しさを実際の経験を通して伝える機会はほとんどないので、貴重な機会であり、子ども達にも心に残る経験になり、職業選択のきっかけになると思います。この事業の継続と拡充を願います。(フラワー装飾職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	電子機器組立て	寝具製作	建築大工	畳製作	
指導者数	1	1	4	2	
受講児童生徒数	16	16	16	16	
回答	とても満足した	14	16	13	14
	ある程度満足した	2	0	3	2
	あまり満足できなかった	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0
	合 計	16	16	16	16

	貴金属装身具製作	フラワー装飾			合計(左:人 右:%)
指導者数	1	1			10
受講児童生徒数	15	16			95
回答	とても満足した	15	15		87 91.6
	ある程度満足した	0	1		8 8.4
	あまり満足できなかった	0	0		0 0
	満足できなかった	0	0		0 0
	合 計	15	16		95 100

電子機器組立て会場の様子



先生の感想

①職業講話…教員以外の職業について、生徒に触れさせることができることがとても価値のあることだと感じた。特に、講師紹介での勝野様の経験や資格などを聞いた時の生徒は目を輝かせていた。また、中学校理科の学習にも関わらせて、電気について分かりやすく講話を行って下さったため、理科で学習したことと、日常での身近な現象などが繋がっていき、学びの深まりを感じた。
②製作実演と体験活動…講話を聴くだけでなく、実際に手を動かして風力発電器を製作する活動に対して、生徒は大変意欲的だった。扇風機の風で、発電機のプロペラが回転し、LEDライトが点灯した際は、生徒から歓声が上がるほどだった。改めて、自身の授業でも、生徒があつと驚くような事象提示や、実験を行いたいと思った。

児童生徒の感想

- ・風力発電の仕組みを実際に見れて面白いなと思った。ペットボトルを8等分したものを曲げるのが少し難しかった。
- ・ペットボトルを8等分したものを3回も曲げ直したけど、結局曲げる向きが違っていたことが印象に残った。
- ・ボタン電池の仕組みを教えてもらって、表が+極で裏が-極だということを初めて知った。
- ・羽の回る方向が違っているだけで、電気(LED)が点灯しないということが印象に残った。将来は工業に関係する仕事に就きたい。
- ・電子機器の組立てをしてみて大変だったことは、はんだをつけることだった。はんだがうまく付かなくて苦戦した。
- ・川崎重工業は風力発電機を作っていると思っていたけど、実際はロケットの先端の部分など色々な物を作っていてすごいと思った。
- ・ロケットの先端には電子機器の部品が組み込まれていることを初めて知り、興味が出てきた。
- ・ものづくりの職業に興味が出てきて、将来は就職してみたいと思った。
- ・ものづくりマイスターの先生がとてもすごい経験であることが分かった。自分で風力発電機を製作して、動いたときはとても感動した。
- ・実際に日常ではどのようなお仕事をしているか、もう少し具体的に教えてもらいたかった。

寝具製作会場の様子



先生の感想

・事前準備がしっかりとなされ、初心者の生徒たちも、戸惑うことなく作業に向かうことができた。また、講師の方が恵那市内の店舗の経営者の方だったため、布団作り、布団販売をより身近に感じることができた。作った作品は各自持ち帰ることができ、体験の記念になった。また、生徒への対応や指示など、的確でよく分かる講義であった。

児童生徒の感想

- ・吉田さんの話を聞いて、新しいことに挑戦する気持ちが素晴らしいと思った。
- ・吉田さんは技能グランプリという全国大会で優勝されていて、すごいなと思った。
- ・時間が足りなくて難しいかもしれないけど、大きな布団を作るところも見てみたい。
- ・作業を一つ一つ丁寧に行う必要があることが分かった。
- ・プロの方はやはり出来映えが全然違うなど感じた。
- ・職人の座布団を作る手さばきが早くてびっくりした。山奥で営んでいても、全国各地から注文が来ることが凄いと思った。
- ・布のカバーに入る時の返しの作業が一番難しかった。それでも中々上手にできた。
- ・商売を場所ではなく、技術で勝負していてすごいと思った。お客様に合わせた寝具の製作をされているとということを新たに知った。
- ・角作りや台はりが難しかった。でも、吉田さんはとても早く正確に作っていてすごいと思った。綿を切る時にはさみじゃなく、手で切るということを初めて知った。
- ・こんなに時間がかかるって作ったミニ座布団を職人の人は30分以内で終わらせるということに驚いた。
- ・吉田さんの工房には沖縄からも注文が来ているすごいなと思った。
- ・座布団などの中にある綿は、色々な種類の綿を混ぜることから行っていることが分かってびっくりした。

建築大工会場の様子



先生の感想

- ・プロの技は、見ただけで「すごい！」と感動させる力があると感じました。カンナがけでは、生徒が何回挑戦しても上手く削れないものを講師の方々が一回できれいに削る姿に、生徒は見入っていました。
- ・電動ドリルを使っての穴あけや丸太切りでは、危険がないように配慮していただきました。
- ・非常に丁寧に準備や段取りをしてくださったおかげで、たいへんスムーズに体験ができました。
- ・とても素晴らしいプレゼンの写真でしたが、一軒の家が建つまでの過程の写真があると、生徒の興味・関心がより高まるのではないかと感じました。

児童生徒の感想

- ・建築大工の仕事は力だけじゃなくて、技術や知識が必要なんだなと思った。
- ・どんな日であっても休むことなく仕事を続けるのがすごいと思った。
- ・扱ったことのない道具や機械に触れて、普段できないような体験ができるって良かった。
- ・職業講話と製作実演を通して、今大工の方が使っている道具の中には、江戸時代からある物を未だに使っていたり、建物によって構造が違ったりすることを初めて知った。そして実際にかんなを作ったり、ペン立てを作ってみて、大変だったけどその反面とても楽しいと思った。
- ・ペン立てを作つてみて木をまっすぐ切ったり、ペンを入れる穴をインパクトドリルで空けるのは難しかったけど、自分なりに良いものができた。
- ・職人の話を聞いて、大きな家を3人で半年かけて作っているという話に驚いた。
- ・ものづくり体験をしてみて、のこぎりやかんなの正しい使い方が分かってとても良い体験になった。建築大工の仕事に少し興味を持てた。
- ・かんなで木を削ったことが印象に残った。同じ力で木を削るのが難しかったし、思ったよりもかんながとても重たかったから、すごく力を入れないと上手く木を削るのは大変だった。でもとても楽しかった。
- ・学校の技術では木材加工で両刃のこぎりを使うけど、木を切るときは片刃のこぎりを使っていたことにびっくりした。
- ・建築大工の仕事は自然も関わっていることが分かった。大工さんたちは夏冬でもやりがいを持って楽しく仕事をしていることが分かった。

畳製作会場の様子



先生の感想

- ・畳の原料であるい草の栽培面積は、熊本県が全国1位であることや、畳の需要量や生産量の推移など、社会科の学習とも関連した内容を伺うことができた。
- ・教室に入った瞬間に、畳の良いにおいが充満しており、それだけで生徒たちは、畳に興味を抱いている様子だった。さらに、職人さんから、畳には芳香性、湿度調節、空気の浄化など様々な効能があることをお話いただいたことで、畳に魅力を感じている生徒が多くいた。
- ・ミニ畳であったが、実際に作業工程を体験できたことで、1枚の畳を作り上げる苦労や職人さんの技術の高さを実感することができた。
- ・本物の畳、本物の職人さんの技術を見ることができたことで、生徒たちは高い学習意欲をもって、活動に取り組むことができた。「本物」は、生徒の主体的な活動を引き出すことを、学ばせていただいた。
- ・講話、体験、質疑応答の流れが時間通りに進んで(タイムマネジメントがよかつたので)、生徒たちは落ち着いて活動に取り組むことができた。

児童生徒の感想

- ・ミニ畳を作ってみて、小さな畳でも時間がかかってしまったけど、職人さんは自分が作った物の何十倍もある畳を1時間で作っているという話を聞いてすごいと思った。
- ・畳の匂いは、い草と粘土の匂いだったのが印象に残った。
- ・畳は大型の機械を使えば1時間くらいで作れることを知ってすごいと思った。
- ・自分で好きな柄を選んだ。色々な色の畳表や模様があって、オリジナルのミニ畳が作れて面白かった。
- ・畳の良さや作り方などが初めて知れて良かった。本物の畳を作るのはすごく力がいるから、大変そうだと分かった。
- ・畳に長所があることは知っていたけど、思った以上に長所がたくさんあって驚いた。また、畳表にも種類がたくさんあって驚いた。
- ・様々な種類の畳表とへりがあって悩んだけど、自分が満足できるミニ畳が作れて嬉しかった。
- ・畳のへりを縫う作業はとても力が必要で、畳1枚に多くの努力と時間がかけられていることが分かった。
- ・畳のへりを手で縫うときに使った針とまち針がとても大きかったということと、畳が黄色くなっていくのは日焼けによるものだというお話が印象に残った。
- ・針を使ってへりを縫うので、手につける道具がないと手のひらを貫通してしまうので、注意が必要だとうことが印象に残った。

貴金属装身具製作会場の様子



先生の感想

- ・作業を行う前に、手順を図でまとめた用紙や、講師の先生の実演があったおかげで、手際よく生徒が作業に移ることができた。また、講師の方が講話されるときに、生き生きと今までの体験や製作過程を語って下さったので、生徒たちも、楽しそうで、やってみたい、という思いを自然に持ちながら体験授業に参加できていた。最後には全員が共通の指輪を完成させることができ、持ち帰れたことで体験の良い記念になった。
- ・講師の方が楽しそうに話す姿に、生徒達が非常に惹かれていた。生徒の「やってみたい」を引き出すには、どれだけその活動が魅力的なのかを、伝えることが大切だと改めて感じた。

児童生徒の感想

- ・ジュエリー製作は自分で作るものを作りデザインして、材料を溶かすところから作業をするなど、更に細かな作業があることを初めて知った。
- ・お客様と話しながらオーダーメイドを作るときは、長い時間がかかるけど、お客様の喜ぶ顔を見るために頑張るところがすごいと思った。
- ・宝石や貴金属は高価なので、繊細さが大切で緊張するのかなと思ったけど、実演をすごく楽しそうにされていたのが印象的だった。
- ・お店に売っているようなものではなく、世界に1つだけの指輪を作っていてすごいと思った。もっと大きな作品があったら、見てみたいと思った。
- ・指輪作りでは角を丸くするのが難しかった。きれいな円になるように工夫できた。
- ・指輪製作やアクセサリーなどはとても繊細で難しく、集中力のいる作業だということが分かった。楽しかった。
- ・とてもシンプルで良い指輪ができた。鉄心に巻きつけるのが大変だったけど、楽しかった。
- ・最初は簡単そうだと思ってたけど、くるくる曲げるだけで大変で時間がかかる。動画を見て、今の材料を準備するのにこんなに時間をかけて作っていただいていることに、授業に対する情熱を感じた。
- ・話を聞いていく中で、貴金属の仕事は大変だけど楽しそうでやりがいがある仕事なんだなと思った。
- ・きれいに形を整えることが難しく、デザインから完成まで何日もかけて作業されていて大変な仕事だと分かった。それでも、お客様の笑顔を見るとやってよかったと思われるそうで、やりがいのある仕事なんだと思った。
- ・昔から興味があったことに関して学べて嬉しかった。どうやって作るのか、そのためにどんなことをしなければいけないのか…など、製作工程に更に興味を持った。また、「自分の好きなものを！」と自分で自由に、好きなものを作る上下さんがすごいと思った。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

・職業講話では、花の流通の仕組みや花を扱う職業について知ることができました。また、ただ知識として知るだけでなく、花を扱う仕事だからこそ味わうことのできる喜びややりがいについても説明していただき、技能を用いた職業だからこそその魅力を生徒が感じることにつながったと思います。

体験活動では、どの生徒も楽しんでアレンジメントづくりをしていました。時間いっぱいまで集中して取り組む姿から、フラワー装飾の魅力をどの生徒も感じていることが分かりました。また、実際に体験することでプロの技能のすごさを実感することにもつながったと感じています。

児童生徒の感想

- ・フラワー装飾の先生ははカルチャー教室も運営されていてすごい方だと思った。楽しく、可愛くフラワー装飾ができて良かった。
- ・花には人の心を動かす力があることを学び、改めて花の魅力を知ることができた。その時の人・状況に合わせてフラワー装飾をするのはすごいと思ったし、人の気持ちを明るく穏やかにする、とても素敵な仕事だと思った。
- ・ただ無心で作るのではなく、全体の形や全方位から見たときの見え方、テーマに合わせて作るのが難しかった。一人一人違う素敵な作品ができるのが面白かったし、楽しんでできた。
- ・花束はただ花を束にするものだと思っていたけど、色合いやバランスをしっかり見ながらきれいに束にしていくことが大切だということが分かった。
- ・自分の好きなように装飾していって、どんどん大きく、色がついていくのがすごく楽しかった。リボンの余った部分を別の飾りに使えたことも良かった。
- ・花束を作るときに斜めに刺していくことが大切だと初めて知ることができた。また、花束を作る実演でも、すごくきれいな花束作りを見せてくださり嬉しかった。
- ・お花関係の仕事で一番に思いつくのがお花屋さんで、今回の講話を聞いて、お花関係の仕事にもお葬式や結婚式、ディスプレイなどたくさんのお仕事があることが分かったので、これからいろいろな場面で生かしていきたいなと思った。
- ・フラワーアレンジメントを実際に経験して、どうしたらきれいに見えるか、どうしたらどこから見てもきれいに可愛くできるかにこだわって、夢中で作ることができたので良かった。
- ・お客様に言ってもらえて嬉しかった言葉で私だったら「可愛い」とか「きれい」と言ってもらえると嬉しいけど、中西さんは「想像してたのと一緒に」と言ってもらえると嬉しいと言われていたので、ちょっとびっくりした。
- ・全体的な立体感を出すコツや、どこから見てもきれいな風に見えるように教えてくださったり、特に驚いたのは、花束を作っている時にみるみるうちにきれいなバランスの良い花束ができていて感動したし、すごいと思った。